

達成度：H24.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

健康福祉課の目標（平成23年度）自己評価書

健康福祉課長 仲田義秀

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>個別事業</p> <p>1 第2期酒々井町障害者福祉計画の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同計画(計画期間 平成21年度～平成23年度)を着実に推進し、障害者の福祉を推進します。 ・同時に、本年度は、平成24年度からスタートする第3期計画を策定し、一層の障害者福祉の推進に努めます。 <p>2 一人暮らし高齢者等の見守り(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員と連携を図りながら、見守りを実施します。 ・具体的には、75歳以上の高齢者単身世帯及び75歳以上の高齢者だけの世帯で、一方が介護認定を受けている世帯を訪問し、「本人情報、緊急時の連絡先、日々の暮らしの中で困っていること」などを聞き取るとともに、定期的な見守り・声掛けを行います。 <p>3 民生委員及び児童委員の活動支援(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進において、民生委員及び児童委員は中心的な担い手として、以前にも増してその役割が期待されていることから、その活動を支援します。 	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>1 地域自立支援協議会の活動を積極的に推進した結果、障害者の地域での生活支援施策の充実につながったものと考えます。</p> <p>相談件数(延べ) 733回 実人員 201人 (身体障害2人、知的障害14人、精神障害71人、発達障害5人、その他109人)</p> <p>また、第3期酒々井町障害福祉計画(平成24年度～26年度)を策定しました。</p> <p>2 75歳以上の高齢者単身世帯 274世帯、75歳以上の高齢者だけの世帯で、一方が介護認定を受けている世帯44世帯の計318世帯を訪問し、対象世帯より「本人情報、緊急時の連絡先、日々の暮らしの中での困りごと」などを確認しました。その結果、緊急時の迅速な対応が可能になったものと考えます。</p> <p>3 8月を除き、定例会議を毎月開催し、福祉サービスに関する説明や活動事例の研究に取り組み、円滑な活動に資することができたものと考えます。</p>

<p>・具体的には、平成22年12月1日の一斉改選で5分の1の委員が入れ替わったことから、新委員の活動の参考に資するよう、事例研究に積極的に取り組みます。</p> <p>4 第4期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の推進(介護保険班)</p> <p>・同計画(計画期間平成21年度～平成23年度)を着実に推進し、高齢者の福祉を推進します。</p> <p>・同時に、本年度は、平成24年度からスタートする第5期計画を策定し、一層の高齢者福祉の推進に努めます。</p> <p>5 地域支援事業の推進(介護保険班)</p> <p>・高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、包括的支援事業を推進する上では、地域包括支援センターを核に、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えていきます。</p> <p>・介護予防事業では、元気な高齢者の社会参加を促し、介護予防につなげるとともに地域を活性化させることを狙いに、「介護支援ボランティア制度」の創設について積極的に検討します。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>4 同計画に基づき、事業を実施した結果、介護保険事業の給付費については施設サービス給付費 330,665千円(前年度比7.9%増)、居宅サービス給付費 449,551千円(前年度比8.5%増)となりました。給付費の増加には様々な要因がありますが、計画の推計内で適切に事業の実施が図られたものと考えます。</p> <p>第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画については、高齢者保健福祉・介護保険に関する意識(ニーズ)調査を実施し、基礎資料としたうえで町高齢者保健福祉計画推進委員会において審議し、最終的には町民の意見公募を経て策定しました。</p> <p>5 事業では、相談件数322件、出前相談5回、介護予防契約延べ1,246名、包括便り発行3回、このほか、介護予防サークル「月曜会」を開催し、毎週月曜日に42回開催・延べ736名が参加しました。また、必要に応じて、随時見守り訪問を実施しました。その結果、高齢者の日常生活をサポートできたものと考えます。</p> <p>実施している市町村の実施要綱、パンフレット等の取得及び視察を行い、実施状況、課題などの聞きとりをし、介護支援ボランティア制度の創設について積極的に検討しました。</p>
--	-------------------------------------	---

<p>6 介護保険事業の確実な取り組み(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護等認定事業及び給付事業を確実にを行います。 ・とりわけ、末期がん患者が病院を退院して自宅で療養することとなった場合、すみやかに、かつ円滑な介護サービスの利用につながるよう、すばやい認定に努めます。 <p>7 母子保健事業の充実(地域保健班)</p> <p>(1) ブックスタート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生祝品として乳児相談時(4 か月児)に絵本を配布し、親と子のコミュニケーションを通し乳児の健やかな発育を促進します。 <p>(2) 3 歳児健診の受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本健診は、発育期の幼児の健康状態や母親等の育児不安を取り除くことを目的としており、就学前の最後の健診であるため、受診率の向上を図り、病気や障害の早期発見に努めます。 <p>平成21 年度84.1%、平成22 年度87.4%</p> <p>(3) こんにちは赤ちゃん事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進員が4 か月児乳児相談のお知らせを持参し、保護者と面談することにより、虐待の早期発見・予防に努めます。 <p>(4) 「ことばの教室」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3 歳児健康診査時に専門指導員を活用し、ことばの発達等に不安のある保護者に対し相談を実施することにより、不安を軽減していきます。また、教室の設置につ 	<p>6 介護認定審査会を月2回、確実に開催し、要介護度判定を行なった結果、認定結果は641件となり、適切なサービスの提供につなげました。</p> <p>末期がん患者については、すみやかに認定し、かつ円滑に介護サービスの利用につなげました。</p> <p>申請件数 10 件 申請から認定まで 平均 3 週間</p> <p>5 (1) 乳児相談(4 か月児) 受診者 120 人に対し読み聞かせを行うことにより、児に対する成長過程における絵本の重要性を意識付けることができました。</p> <p>対象者 142 人 受診率 84.5%</p> <p>5 (2) 3 歳児健康診査は年 6 回実施し、欠席者にはハガキによる受診勧奨を行い、再度未受診となった者には電話及び訪問により必ず児の健康状態を把握することに努めました。また、精密健康診査や幼児健診事後指導教室につなげ専門医等による相談の機会を設けました。</p> <p>対象者 180 人 受診者 165 人 受診率 91.7%</p> <p>5 (3) 4 か月の乳児 142 人のうち、133 人に対し、健康推進員による訪問を行いました。</p> <p>すべての乳児に対し、新生児訪問指導を行うように努め、里帰り等により訪問できなかった児についても電話等で把握し、乳児の健康状態や保護者の育児不安の解消など早期に相談できるよう援助しました。</p> <p>5 (4) 7 月と 9 月の 3 歳児健康診査の会場において、ことばの相談を行い、4 組の相談がありました。</p> <p>平成 24 年度のことばの教室設置に向け、学校教育課、</p>
---	---

<p>いて関係機関と協議し検討していきます。</p> <p>8 予防接種事業の推進(地域保健班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生時に予防接種の受け方をわかりやすく説明します。また、定期接種未接種者に対しては引き続き接種勧奨を行っていきます。 ・本年度から、ヒブ、小児肺炎球菌、子宮頸がんワクチンの無料接種を実施するため、広報紙等により周知を図っていきます。 <p>9 健康づくり施策(増進事業)の推進(地域保健班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層のがん検診の受診率を向上させるために、乳がん、子宮がんの無料検診を年齢別に継続して実施します。 <p>乳がん検診 平成21 年度20.4%、平成22 年度21.1%</p> <p>子宮がん検診 平成21 年度12.1%、平成22 年度11.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、結核、大腸、胃がん健診の実施をチラシの全戸配布及び広報紙等により周知します。 <p>10 特定健康診査・特定保健指導(地域保健班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの改善や予防のために、特定健康診査により支援が必要な方に対して保健指導を行います。「治療中」であっても指導が必要な方に対して結果説明会などで健康相談、健康教育を実施していきます。また、結果説明会の不参加者に対しては電話相談や訪問指導を行っていきます。 	<p>こども課等関係部署と、ことばの教室開設推進会議を3回 行い協議を重ねました。</p> <p>5 8 リーフレット「予防接種を受けましょう」を作成し、 5 出生届出時に配布して保護者に説明を行いました。ヒブ、 小児用肺炎球菌についても説明書を同封しました。また、 健診時には母子健康手帳を確認し未接種者へ接種の勧奨 を随時行いました。なお、幼児期の最終確認として就学 時健診においても同様に勧奨を実施しました。</p> <p>平成23年度 ヒブ 実231人 小児用肺炎球菌 実266人</p> <p>子宮頸がん予防ワクチン接種については、個別通知を 行い接種者の増加を図りました。平成23年度 実172人</p> <p>5 9 乳がん・子宮がんの無料検診に大腸がん検診を加え住 民の健康増進に努めました。</p> <p>乳がん検診 平成22年度21.1% 平成23年度19.9% 子宮がん検診 平成22年度11.5% 平成23年度11.7% 大腸がん検診 平成22年度21.3% 平成23年度27.7%</p> <p>5 また、検診のつど広報の掲載に加えチラシを全戸配布ま たは、回覧し周知を図りました。</p> <p>5 10 保健指導利用者には継続的な支援を行い、メタボリッ クシンドロームの改善や予防に向けて取り組むことがで き、医療が必要な方に対しては早期に適切な医療機関に つなげることができました。 また、説明会不参加の方には、地区健康相談や電話、訪</p>
---	---

<p>11 介護予防事業の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な高齢者が要介護・要支援状態となることを予防し、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。 <p>(1) 特定高齢者の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 「介護予防のためのチェックリスト」により特定高齢者を把握し、介護予防事業への参加を促すことにより、介護状態となることを予防していきます。 <p>(2) チャレンジ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の集会所を会場に自治会と協力し、高齢期に必要な情報を「総合プログラム」として企画し提供していきます。 <p>12 食育の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康推進員協議会と協働により小児生活習慣病予防を兼ねて「親子ヘルシー教室」「いきいきすいっこ食育教室」を開催していきます。また、献立に郷土の味を取り入れ子育て中の保護者を中心に手作り料理の楽しさ・必要性を普及させていきます。また、3歳児健康診査時に食育絵本「おいしいね」を配布し、親子で食育の大切さを知っていただきます。 	<p>問等で受診状況の確認、受診勧奨を行いました。</p> <p>保健指導対象者結果説明・初回面接年6回実施</p> <p>積極的支援 8人（利用率23.5%）</p> <p>動機づけ支援 46人（" 43.8%）</p> <p>要医療対象者結果説明会・年4回実施</p> <p>健康相談（個別）113人（参加率55.4%）</p> <p>5 (1) 65歳以上の認定者を除く4,219人に「介護予防のためのチェックリスト」を送付しました。</p> <p>回収率 69.3%</p> <p>特定高齢者数 573人</p> <p>3 (2) 自治会に重ねて要請しましたが、依頼がなかったため保健センターを会場に全8回で開催しました。</p> <p>参加者延べ 95人</p> <p>5 12 家庭教育学級と連携し「ホテルシェフ・栄養士・調理師」などを講師に迎え郷土の食材を使った献立により教室を開催しました。参加者からは「レパートリーが広がった」「家族に食べさせたい」等手作りへの意欲が高まったと感じました。 4回実施 参加者 75人</p> <p>また、夏休みには親子ヘルシー教室を行い、料理の楽しさ手作りの大切さを学ぶ機会を作りました。</p> <p>2回実施 参加者 42人</p> <p>3歳児健康診査では食育絵本「おいしいね」を配布しました。</p>
---	---

<p>13 小児生活習慣病の予防(健康づくり推進班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早くから自らの健康について考えていただくため、小学校5年生を対象に小児生活習慣病予防健診の事後指導として「いきいきしすいっこ教室」を開催します。また、食育の推進と合わせて料理教室を開催し、健康づくりを親子で学習する機会を設けていきます。 <p>チャレンジ目標</p> <p>【福祉班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の活動を通じて、町内保育園や3歳児健康診査時での巡回相談を行い、障害児の早期発見に努めるとともに、町内での定期的な相談体制についても整備し、障害者相談事業の強化を図ります。 <p>【介護保険班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度からスタートする第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に向け、日常生活アンケート調査の実施、介護事業所の訪問などにより、住民ニーズや事業所の実態等を的確に把握するよう努めます。 <p>【地域保健班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度40・50・60歳を対象にがん検診の実施を個別通知によりお知らせし、受診率の向上を図ります。 	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<p>対象者 180人 配布者 165人</p> <p>13 健康推進員による「いきいきしすいっこ教室」を行い、その後のアンケートから内容を十分に理解し、今後自分の生活習慣（運動や食生活）を見直したいとの意見が多くみられ教室の効果を感じることができました。。</p> <p>中央保育園、岩橋保育園で毎月1回、3歳児検診時に巡回相談を行い、障害児の早期発見に努めました。</p> <p>同計画策定に向け日常生活アンケートを実施し、高齢者と高齢者を取りまく実態及びニーズを把握し、計画策定の基礎資料としました。また、高齢者保健福祉計画推進委員会を3回開催し同計画について検討を行い、第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）を策定しました。</p> <p>調査人数 1,040人 回収数 755人 回収率 72.6%</p> <p>40歳～60歳まで5歳刻みに個別通知を行うことにより受診率の向上が図れました。</p> <p>大腸がん 平成22年度 21.3% 平成23年度 27.7% 胃がん 平成22年度 19.0% 平成23年度 21.2% 肺がん 平成22年度 29.3% 平成23年度 30.2%</p>
---	-------------------------------------	---

<p>【健康づくり推進班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業では、対象者の把握に努め、同時に高齢者が興味を持てる楽しい企画し参加者を増やしていきます。 ・また、特定保健指導においては内容の検討を図り、自らの生活習慣について見直す機会を与えていきます。 	<p>4</p>	<p>予防事業を10講座開催し参加者を募集しました。しかし、同一参加者が多かったので新規申込者の開拓に努力したいと考えています。</p> <p>保健指導利用者の88.7%が腹囲や体重が減少しました。</p>
--	----------	---